

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら蒲生茜町第2教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちがやりたいことを自分たちで考え、支援員に伝え、出来る限り実行している。	・レクを通して、子ども同士で話し合える機会を作っている。 ・子どもたちと積極的にコミュニケーションを取り、やりたいことを言いやすい環境を作っている。	・指導員が子どもたちの遊びなどに深く入らず、時には見守り、子ども達で何をしたいか考え行動出来るように支援していく。
2	・日々の目標を達成することでスタンプを貯め、数に応じて好きな場所にお出かけ出来るご褒美を設定している。	・半年に一回目標を見直し、その子に合った目標設定が出来るようにしている。 ・目標を達成できるよう、声掛けなどで促し、達成できた喜びを感じられるようにしている。	・来所時間が遅い子の目標が達成しにくいなどの課題があるため、来所時間を考慮して目標を設定出来るようにしていく。
3	・毎月、記録が残る運動などを設定し、自ら挑戦することで、自信に繋げられるような支援をしている。	・子ども達が積極的に自ら参加できるように運動やゲームなどを設定している。 ・記録に大きな差が出ないような運動やゲームを考え、設定している。	・子ども達がしたい運動やゲームを聞いて、興味を持って楽しく参加できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・教室の狭さから、大きく体を動かす活動に限りがある。	・環境構成として、学習のスペースを大きく取っている為大きく体を動かす活動が難しくなっている。	・体を動かす活動をする際は、テーブルを移動して、十分なスペースを確保していく。 ・近隣の公園や、グラウンドなどの施設を活用していく。
2	・小中高生が利用しているため来所時間に差があり、スケジュールに沿っての活動が難しいことがある。	・全員に向けたスケジュール設定をしている為、遅れて来所してくる子ども達の決められている活動時間が短くなってしまっている。	・来所時間に合わせたスケジュールを設定していく。 ・来所時間に左右されない工夫をしていく。
3			